

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	在宅福祉事業費補助金			担当部局庁	老健局	作成責任者				
事業開始年度	昭和38年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	振興課	振興課長 三浦明				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	老人クラブ活動等事業の実施について (平成13年10月1日老発第390号)					
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	老人クラブ活動等の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	老人クラブが行う各種活動に対する助成(以下の具体的な活動内容は例示である。) (ア)健康活動：健康と体力保持に意欲のある高齢者を対象とした「熟年健康教室」の実施 (イ)友愛活動：高齢者や家族等に対する認知症問題の普及・啓発、孤独死を未然に防ぐ安否確認運動 (ウ)奉仕・ボランティア活動：子供や高齢者を含む地域全体の安全を守る地域見守り活動 (エ)次世代育成支援活動：放課後の小学校を活用した地域住民との世代間交流									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	2,710	2,710	2,631	2,611				
		補正予算								
		前年度から繰越し								
		翌年度へ繰越し								
		予備費等								
	計		2,710	2,710	2,631	2,611	0			
	執行額		2,630	2,437	2,416					
	執行率 (%)		97%	90%	92%					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		97%	90%	92%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	在宅福祉事業費補助金		2,611							
	計		2,611	0						
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						チェック	<input checked="" type="checkbox"/>			
定量的な成果 目標の設定が 困難な場合	定量的な目標 が設定できな い理由及び定 性的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	高齢者の生きがいや健康 づくりの推進	予算執行率		実績	%	97	90	92	-	-
				目標値	%	100	100	100	-	100
				達成度	%	97	90	92	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	適正老人クラブ数	活動実績		箇所	101,017	98,649	確認中	-		
		当初見込み		箇所	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	市町村老人クラブ数	活動実績		箇所	1,939	1,911	確認中	-		
		当初見込み		箇所	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	都道府県・指定都市老人クラブ連合会数	活動実績		箇所	62	62	確認中	-		
		当初見込み		箇所	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	x「交付決定額(適正老人クラブ事業分:百万円)」/ y 「老人クラブ数」	単位当たり コスト		円	13.6	13.9	確認中	-		
		計算式		x / y	1,396/101,017	1371/98,649		-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	x「交付決定額(市町村老人クラブ事業分:百万円)」/ y 「老人クラブ数」	単位当たり コスト		円	266,632	266,632	確認中	-		
		計算式		x / y	518/1,939	517/1,911		-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	x「交付決定額(都道府県・指定都市老人クラブ事業分: 百万円)」/ y「老人クラブ数」	単位当たり コスト		円	8,629,032	8,629,032	確認中	-		
		計算式		x / y	537/62	535/62		-		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	基本目標X 高齢者ができる限り自立し、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせる社会づくりを推進すること 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう必要なサービスが切れ目なく包括的に確保される地域包括ケアシステムを構築すること								
	施策	高齢者の在宅生活に必要な生活支援・介護予防サービスを提供するとともに、生活機能の維持向上によって虚弱を防ぎ元気で豊かな老後生活を支援すること(施策目標区-1-2)								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度
		老人クラブ活動実績事業数	実績値		箇所	105,532	103,821	確認中	-	-
	目標値			箇所	107,997	105,532	103,821	-	確認中	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
老人福祉法に規定される老人クラブ活動を全国的に推進する見地から、各地域の老人クラブ数を測定指標として選定し、毎年度その数を上伸させることを目標とした。										
改革項目 （第一階層）	分野:	-	-							
	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績		-	-	-	-	-	-	
		目標値		-	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の高齢化が急速に進展しようとする中、老人クラブの役割は益々重要となるため国民や社会のニーズを的確に反映している。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	高齢者の生きがいや健康づくり推進については、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当該事業は老人クラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりの推進を目的としており、優先度の高い事業といえる。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	ほぼ例年通りの水準であり、妥当である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	交付要綱に基づき、支出している。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付要綱に基づき、支出している。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	助成対象は、老人クラブが行っている各種活動である。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-					
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っており、国庫補助金の精算に当たっては、実績報告書により、事業実施状況、支出内容・額などについて確認している。					
	改善の方向性	今後も予算の執行状況を踏まえつつ、適正な執行及び予算額の確保を図る。					
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	526	平成23年度	481	平成24年度	424		
平成25年度	816	平成26年度	813	平成27年度	824		
平成28年度	790						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

厚生労働省
 2,416百万円



都道府県・指定都市・中核市(115)
 2,416百万円

費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
精査中					
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	精査中							